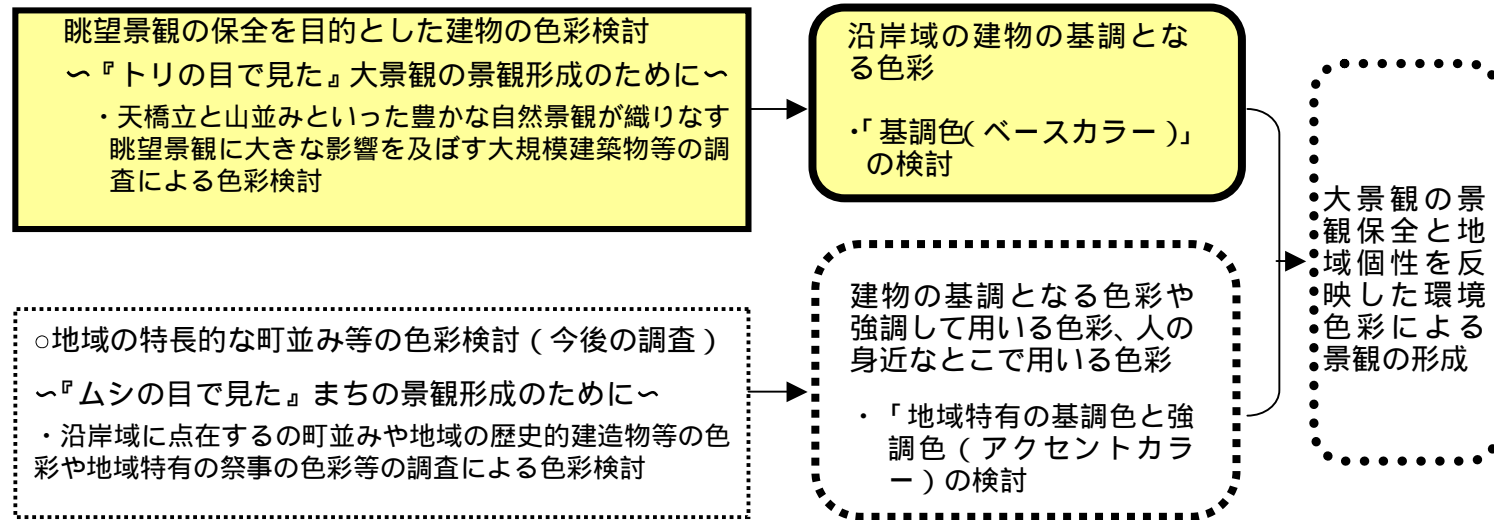


色彩調査報告（大規模建築物の色彩調査）

（1）色彩検討の枠組み



【基調色（ベースカラー）】：主に建物の外壁や屋根など大きな面で用いる色彩

【強調色（アクセントカラー）】：主に地域の特長を表現したり、誘目性が必要な部分に用いる色彩
サインやシンボル、壁面等に小面積で用いられる



文字：アクセントカラー

（2）色彩調査報告

調査方法等

【調査方法】

・検討対象地区内の大規模建築物のうち、主要な視点場や沿岸域の幹線道路沿道等から望見できる建物を主なものとし、4階建て以上の建物やおよその高さ12m以上の工作物等を調査対象とした。

【調査方法】

・色測方法は色見本帳（日本塗料工業会色見本帳）を用い、近景からの目視による色測及び写真撮影を行った。

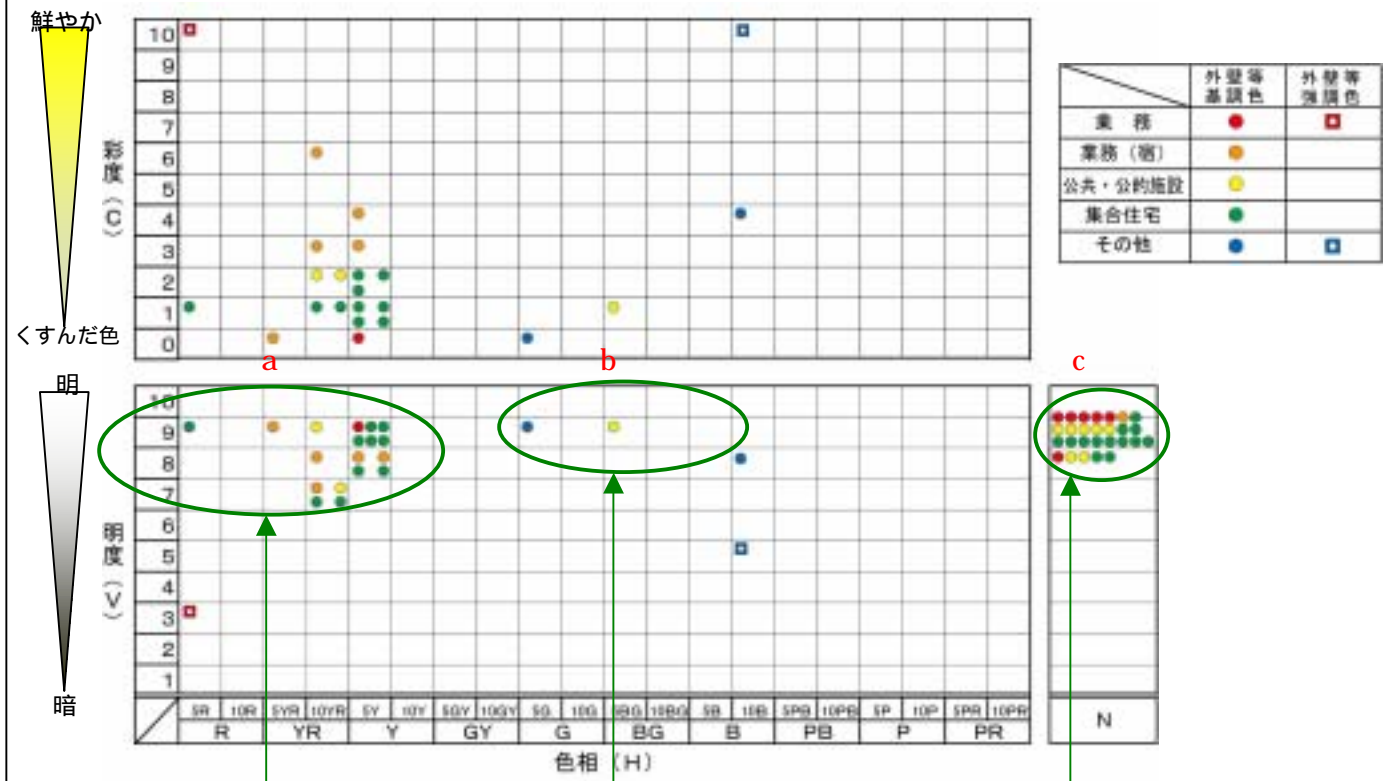
調査結果

・対象とした大規模建築物の件数は48件あり、外壁の基調となる色彩は、概ね2.5YR~5Yの狭い色相幅（薄いベージュ色）とN8~N9（薄い灰色）に集中する傾向にあり、ほとんどがこの色相の範囲に収まっている。それ以外の色相については、5GBや5G（薄い緑味の青、薄い水色）の色相が見られる。

・また、対象件数の半数以上が無彩色であるN9に約半数が集中している。

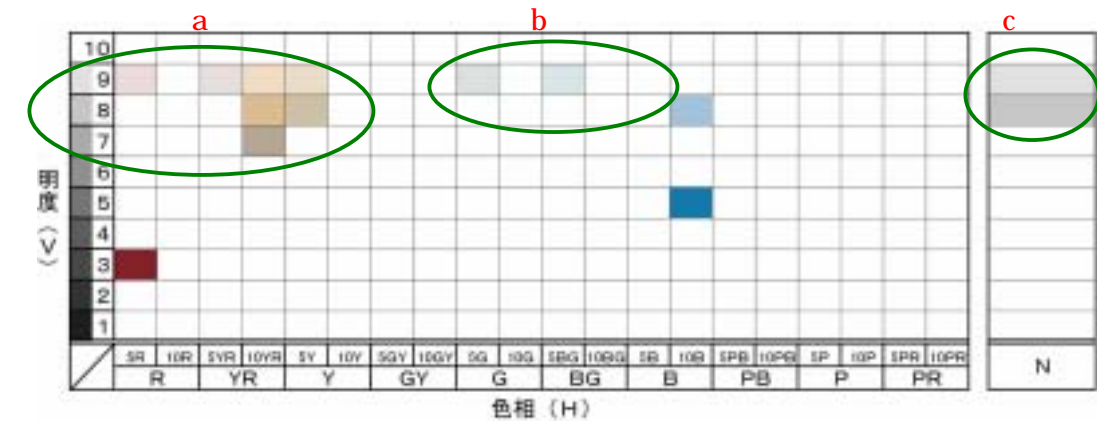
・有彩色においては、おおよそ彩度1~3以下の範囲に収まっている。

大規模建築物の色彩分布（建物用途別）状況



大規模建築物の外壁に見られる色彩

- a) 外壁の基調となる色彩は、概ね2.5YR~5Yの狭い色相幅（薄いベージュ色）とN8~N9（薄い灰色）に集中する傾向
- b) それ以外の色相については、5GBや5G（薄い緑味の青、薄い水色）の色相が見られる。
- c) 対象件数の半数以上が無彩色であるN9（薄い灰色）に集中



山並みの緑と建物の色彩の関係

建物外観の色彩は、主に背景の山並みの緑と対比させている



眺望景觀
俯瞰する眺め
天橋立への眺め
海岸線からの眺め

視点場からの眺め

天橋立や背景となる山並みの主な色彩



天橋立の松林
常緑樹や落葉樹
竹林
下草、枝
等

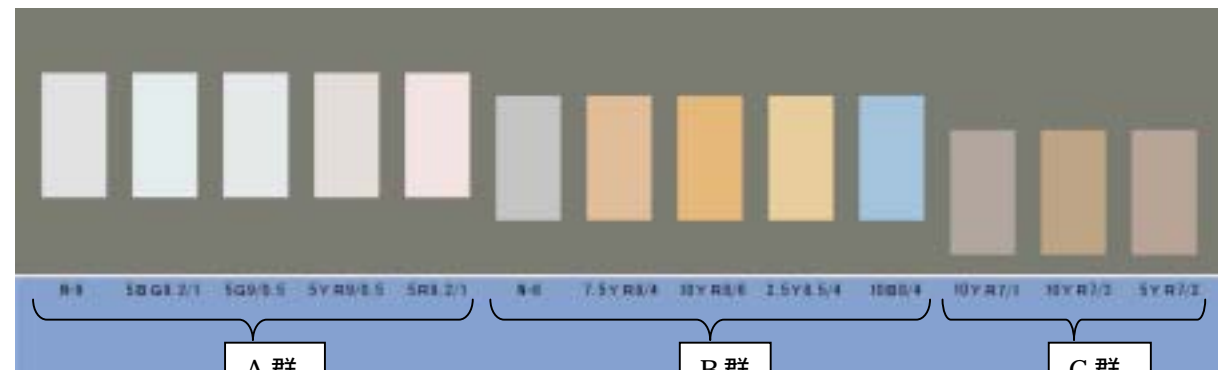
保全すべき天橋立や
背景となる山並み

山並みや天橋
立の前面にみ
える大規模な
建物

天橋立、山並みと建造
物の関係性に配慮

山の緑と建造物の色の関係（色彩調査により把握できた主な外壁色を配置）

- ・背景の「濃緑」は山並み、前面に配置した「色タイル」は建物の外壁色
- ・「色タイル」明度差により分類。『A群』：明度9値、『B群』：8値、『C群』：7値



A群

B群

C群

- ・背景の緑との明度差が大きく際立って見える傾向
- ・色味が分かりづらく、白色に見える

- ・A群と比較して色味を認識しやすく、突出感はない
- ・色味によって、やや突出して見える

- ・際だって見えるものはなく、ほぼなじんで見える

天橋立と山並みに配慮した大規模建造物の色彩検討

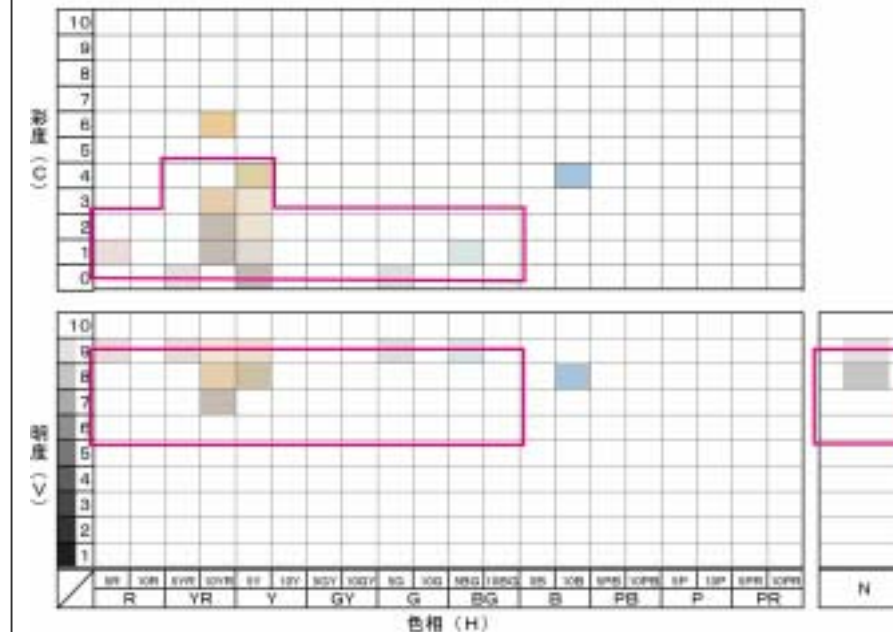
《良好な眺望景觀保全のための建造物の色彩誘導》

- ・天橋立や周囲の山並み等の自然景觀との関係性に配慮
- ・YR系とY系の色彩と一部の無彩色等、一定の幅をもたせた色相 建物外壁の基調となる色彩「基調色」として誘導
- ・「色相調和型」の色彩コントロール

大規模建築物等外壁色の基調色（案）

色相 (H)	彩度 (C)	明度 (V)
5YR ~ 2.5Y	4 以下	6 以上
B, PB, P, PR系を 含まないその他	2 以下	6 以上 8.5 以下

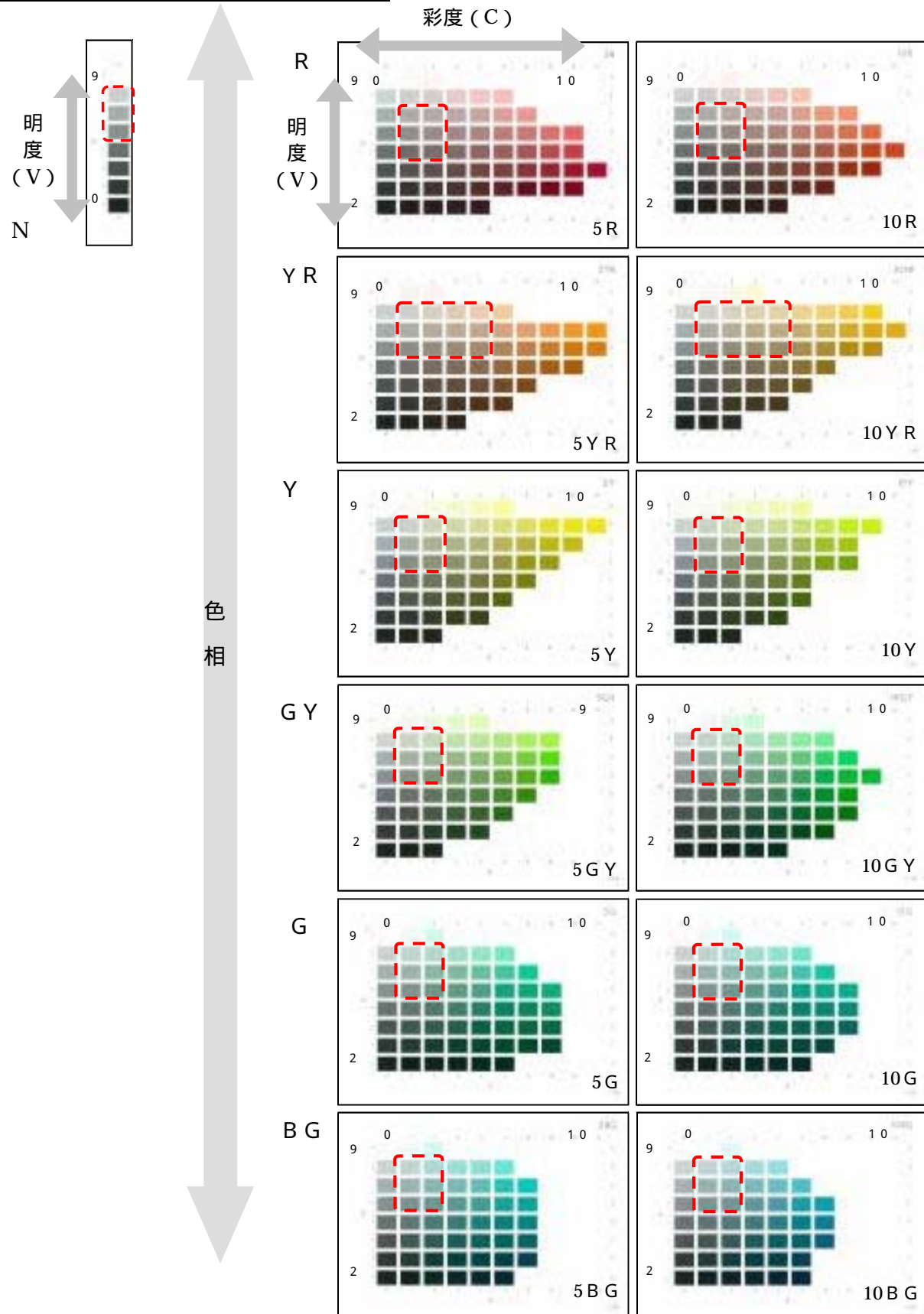
枠の範囲内が上記の数値（マンセル値）



・大規模建造物の色彩分布状況図をベースに基調色の範囲を示した

色彩基調色(案)のカラーチャート

色相(H)	彩度(C)	明度(V)
5YR~2.5Y	4.0以下	6.0以上
B,PB,P,PR系を含まない その他	2.0以下	8.5以下



外壁色彩カラーサンプル 検証例

現況	外壁色彩カラーサンプル例	
N-9	10YR7/2	10YR7/4
	10GY7/2	10GY7/4
	10BG7/2	10BG7/4
	10PB7/2	10PB7/4
	10RP7/2	10RP7/4

 : 基調色(案)内の色彩範囲

色彩調査関連 参考資料

参考 『色彩検討のための基礎知識』

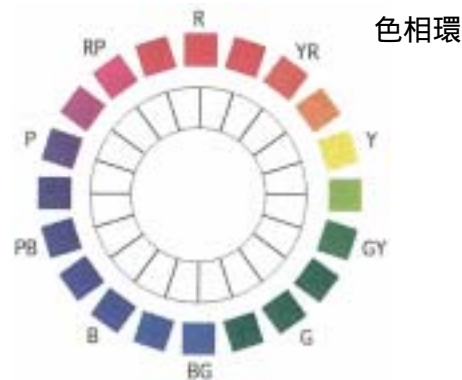
マンセル表色系とは？

マンセル表色とは、アメリカの美術家、アルバート・H・マンセル（1858～1918）が考案した色彩表現体系で、その数値を「マンセル値」と呼ぶ。系統的に整理し記号化されたもので、その色がどんな色であるかを正確に表すことができる。

マンセル表色系では、色相・明度・彩度のそれぞれ独立した色の性質（三属性）によってひとつの色を表示することができる。

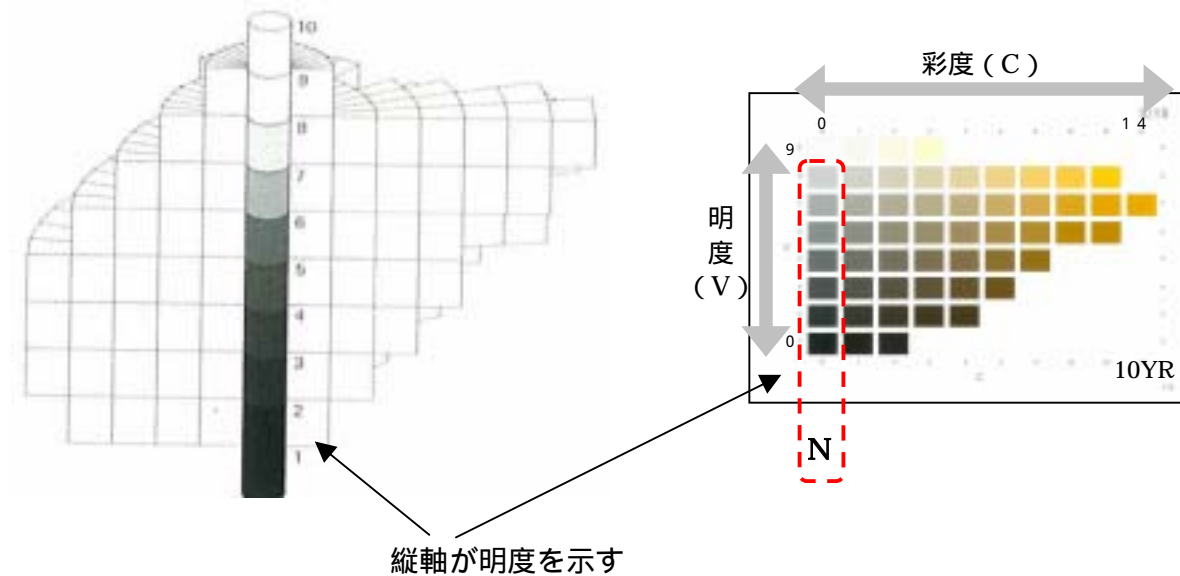
色相（Hue）・・・どんな色合いか

R（赤）、Y（黄）、G（緑）、B（青）、P（紫）5色相を基準とし、さらにその中間にYR（黄味がかった赤）、GY（緑味がかった黄）、BG（青味がかった青）、PB（紫味がかった青）、RP（赤味がかった紫）を配し、10色相をもって構成する。



明度（Value）・・・どのくらいの明るさか、暗さか

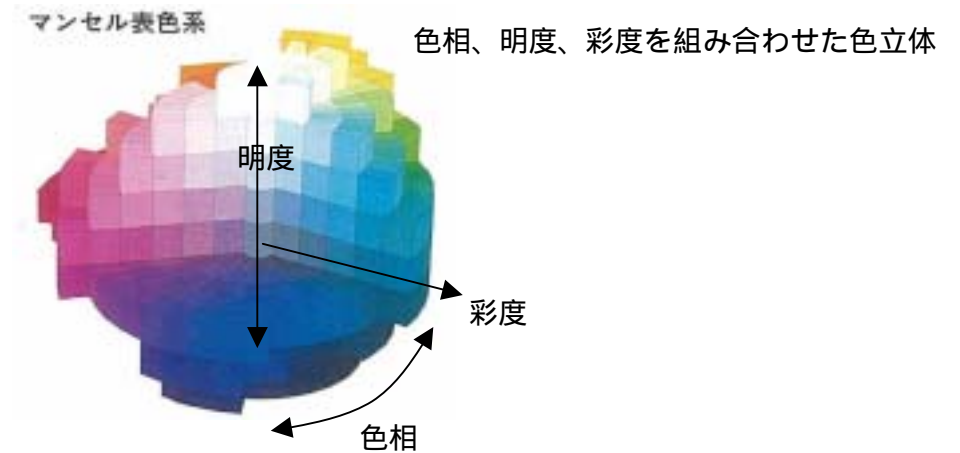
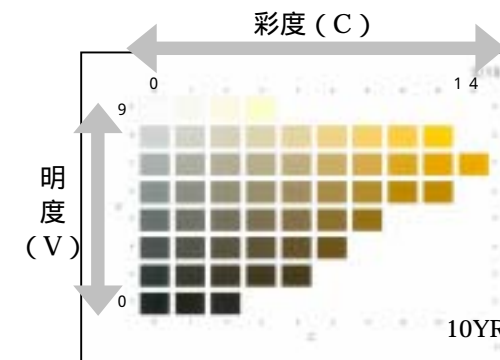
通常1～9.5までで、数字が大きいほど明るくなる。明るいことを「明度が高い」という。また、完全な黒を0、完全な白を10とする。



縦軸が明度を示す

彩度（Chroma）・・・どのくらい鮮やかか、くすんでいるのか

彩度も数字で表され、数字が大きいほど鮮やかさが増す。その最高値は色相によって若干異なります。鮮やかなことを「彩度が高い」という。



マンセル記号の見方の説明

5 R 8 / 2 の読み方 色相・明度 / 彩度マンセル記号は、H V / C の順に書き表す。たとえば「5 R 8 / 2」は「5アール8の2」と読む。また、彩度0明度9の無彩色は「N 9.0」と表す。

大規模建造物等色彩分布 (色相×主な明度)

		明度 (V)		明度 (V)	
		10.0未満～9.0以上		9.0未満～8.0以上	
色相 (H)	N	<p>N-9.5</p> <p>N-9</p>	<p>N-8.5</p> <p>N-8</p>		
	R	<p>5R9.2/1</p>			
	YR	<p>10YR9/2</p> <p>5YR9/0.5</p>	<p>10YR8/6</p>	<p>10YR7/3</p>	<p>10YR7/2</p> <p>10YR7/1</p>
	Y	<p>2.5Y9/2</p> <p>2.5Y9/1.5</p>	<p>2.5Y8.5/4</p> <p>2.5Y8.5/3</p> <p>2.5Y8.5/1</p>		
G/B	<p>5BG9.2/1</p> <p>5G9/0.5</p>	<p>10B8/4</p>			

: 基調色 (案) 内の色彩範囲